

静岡病院ニュース

順天堂大学医学部附属静岡病院

〒410-2295 静岡県伊豆の国市長岡1129 TEL 055-948-3111

No. 67
2016年4月8日



(三島)

広報委員会委員長就任のご挨拶



順天堂大学医学部附属静岡病院

消化器内科 教授 永原 章仁

昨年9月より広報委員会委員長を勤めております。皆様よろしくお願いたしました。

病院に受診される患者さんのみならず地域の方々への静岡病院での最新医療のご紹介、啓発活動といった広報活動は、当院の社会的使命であると考えています。また、順天堂大学では、すべての附属病院、すべての学部が連携して広報活動を展開しており、静岡病院広報委員会はその一翼を担っています。

この静岡病院ニュースでは各診療科のエキスパートによる医療のトピックスの解説、病院部門の紹介、講演会のお知らせなどを掲載しています。皆様ご覧いただき、ご要望、お気づきの点があればお気軽に地域医療連携室までご連絡いただければと思います。

ご自分の病気は、何科に行けばいいのだろうか?と悩まれることもあると思います。病院ホームページの外来日割り表には、各外来の担当の病気がわかりやすく記載されています。是非受診の際の参考にしてください。スマートフォンサイトも開設しています。左記のQRコードからのアクセスをお待ちしています。

広報活動の充実のため、今年度から市民公開講座を隔月開催から毎月開催といたしました。患者さんのみならず地域住民の方を対象に、様々な病気についての最新の情報をわかりやすく解説しています。皆様方のご参加を心よりお待ちしております。



ペインクリニック



麻酔科・ペインクリニック

教授 岡崎 敦

痛みは、身体に生じた異常事態を知らせる警告反応として大切な役割を持っています。しかし、痛みの原因が明らかとなつたあと、痛みは私たちにとって有益な存在から不必要な、さらには有害な存在へと変わってきます。警告の役割を終えた痛みが長く存在すると、より強い痛みや新しい痛みが現れてくる、いわゆる痛みの悪循環が生じます。このように痛みが長期化すると私たちは、本来の自分を見失い、生活の質が低下することにもなります。

痛みとは？

痛みには、その成り立ちから何種類にも分類されます。例えば、本来の痛みの機能に由来する痛み（侵害受容性疼痛）、病

的な痛み（神経障害性疼痛）、心情と密接に関係する痛み（心因性疼痛）など多種多様です。部位別にみても、頭部・顔面痛・頸肩腕痛・胸背部痛・腹痛・腰下肢痛・骨盤内の痛み・陰部痛など身体のあらゆる部位の痛みがあります。また、痛みを起す病気の種類としては、三叉神経痛、筋・筋膜性疼痛症候群、椎間板ヘルニア、頸椎症、脊柱管狭窄症、腰椎術後疼痛、肩関節周囲炎、胸郭出口症候群など筋骨格系疼痛、帯状疱疹・帯状疱疹後神経痛、がん性疼痛、閉塞性動脈硬化症やバージャー病、膠原病などによる難治性潰瘍、術後痛、複合性局所疼痛症候群、幻肢痛、引き抜き損傷後疼痛などがあります。

ペインクリニックとは？

さて、「ペインクリニック」とは、「ペイン＝痛み」を診察する「クリニック＝診療室」のことです。このペインクリニックでは、薬物療法、認知行動療法や神経ブロック療法などの様々な方法を用いて、有害な痛みを緩和するための治療を行います。それでは、どんな痛みでも治せるのでしょうか？ 痛みの中には治療のために手術を必要とするものもありますし、現代のどのような治療法をもつても無くならない痛みもあります。特に、慢性痛と言われる長期に亘つて軽減しない痛みは完治しないことが多いです。このような場合、ペインクリニックでは、患者さんそれぞれの身体的状況やライフスタイルを考えて、少しでも痛みを軽減し、本来の元気な自分を取り戻し、生活の質向上を目標にいたします。

具体的には、神経ブロックなどの注射、薬物療法に加え、リハビリテーションを中心とする

理学療法や認知行動療法という心理療法を行なうこともあります。しかし、一番重要なのは、患者さんが自分の痛みの原因を理解し、痛みを受け入れながら治療に前向きになっていただくことなのです。

また、人間の感覚は末梢神経、脊髄、脳にある複雑な伝達・修飾制御機構によって簡単に変化します。すなわち、小さな痛みでも心理状態で大きくなったり、耐えられなくなったりします。ペインクリニックでは、痛み治療の知識・技術を有するエキスパートが今よりも少しでも、痛みを軽減し、より良い生活ができるように治療の目標設定を行います。

（当ペインクリニックは、日本ペインクリニック学会の認定施設として登録されております。）



リニアック(放射線治療装置) 再稼働のお知らせ



放射線科 准教授

水谷 好秀

がん放射線療法看護認定看護師

山田 真紀

がん治療の中でも、これからのがん治療においては放射線治療を上手に使うことが必要であると考えます。国民の2人に1人ががんになる社会となり、がん患者が増加している昨今において、内科的合併症や高齢のために手術的切除や抗がん剤による治療が困難な場合が多くあります。しかし、放射線治療は他の治療法に比較して低侵襲であり、身体機能や形状を温存することが可能です。こうした患者

さんでもがんの種類によっては手術成績と同等の根治を目指した治療が可能になります。再発・転移した場合や、痛みを取り除く緩和的治療においても放射線治療は効果を発揮します。近年の放射線治療機器における進歩は目覚しく、腫瘍に局限して集中的に照射できる技術が開発されています。多方向からの放射線の投与量に強弱をつけ周辺組織の副作用は許容できる程度に抑えて標

的(腫瘍)に効率よく照射できる強度変調放射線治療(IMRT: Intensity Modulated Radiation Therapy)は多くの疾患で行われています。また、標的(腫瘍)の動きも考慮して動態追跡技術と画像による確認を組み合わせた画像誘導放射線治療(IGRT: Image Guided Radiation Therapy)も行われています。

当院では、リニアック(放射線治療装置)が老朽化に伴い平成27年10月より装置更新のため休止していましたが、平成28年4月より新装置での放射線治療が開始となります。新装置には右記装備がされており、今後段階的に進めていく予定です。装置設置に伴い放射線治療室もリニューアルいたしました。(写真)放射線治療は、地下1階の放射線治療室で行い、通院の方は予

約制で待ち時間はほぼ無く、一般的な治療であれば、1回の治療は更衣も含めて15分前後で終わります。

放射線治療室では、放射線腫瘍医師、放射線物理士、診療放射線技師、放射線療法看護認定看護師の専門チームで協力して治療を行います。毎日の治療の場において、患者さんが少しでも安心して安楽に治療を受けて頂けるよう全力で取り組んでいきたいと考えております。



(写真)

市
民
公
開
講
座
開
催
の
ご
案
内

第42回 順天堂大学静岡病院市民公開講座

『形成外科をご存知ですか？』

～写真で見る形成外科疾患～

平成28年4月20日水 17:30～18:30(開場17:00)

講師 形成外科 科長 古元 将和先生

第43回 順天堂大学静岡病院市民公開講座

『放射線治療 過去・現在・未来』

平成28年5月24日火 17:30～18:30(開場17:00)

講師 放射線科 准教授 水谷 好秀先生

第44回 順天堂大学静岡病院市民公開講座

『夏カゼから家族を守りましょう』

～夏のカゼは冬のカゼとは違います～

平成28年6月20日月 17:30～18:30(開場17:00)

講師 新生児科・小児科 准教授 寒竹 正人先生

- 場 所／順天堂大学医学部附属静岡病院 管理棟4階 第1会議室 (静岡県伊豆の国市長岡1129番地)
- 定 員／100名(定員に達した場合はお断りすることもございます)
- 参加方法／どなたでも自由にご参加いただけます。当日、直接会場までお越し下さい。

参加費 無料 申込み 不要

お問い合わせ 順天堂大学医学部附属静岡病院 地域医療連携室
TEL：055-948-3111(代) FAX：055-948-2103(直通)

■共催／順天堂大学医学部附属静岡病院／順天堂大学医学部／静岡災害医学研究センター／伊豆の国市一般社団法人田方医師会

広報誌をご覧の皆様へ

ご意見ご要望等ございましたら、下記まで御連絡下さい。

問合せ：順天堂大学医学部附属静岡病院 医療サービス支援センター地域医療連携室
電 話：055-948-3111 (内線) 3550